

さらべつ社協だより

ふれあい

社会福祉法人更別村社会福祉協議会と社会福祉法人東松島市社会福祉協議会との 災害時等における相互支援活動に関する協定締結式

東松島市社会福祉協議会と協定を締結しました



社会福祉法人
東松島市社会福祉協
会
会長 海道

社会福祉法人
更別村社会福祉協
会
会長 古山

- 東松島市社会福祉協議会との協定について・・・・・・・・・・ P 2
- さらべつ社協トピックス、高齢者等生活支援事業・・・・・・・・ P 3
- 第8回更別村社会福祉大会を開催しました！・・・・・・・・・・ P 4-5
- 赤い羽根共同募金と歳末たすけあい、福祉団体の活動・・・・ P 6-7
- ボランティアセンターだより☆ふれあい版☆・・・・・・・・・・ P 8-9
- 寄附者・リサイクル協力者のご紹介、更別社協の社窓から・・・ P 10-11



ふれあいは、赤い羽根共同募金助成金を受けて発行しています。

特集

東松島市社会福祉協議会と協定を締結

平成30年1月19日（金）、宮城県東松島市のプレセティア内康にて、東松島市社会福祉協議会と更別村社会福祉協議会が「災害時等における相互支援活動に関する協定」を結びました。

<東松島市と更別村>

東松島市と更別村のつながりは昭和58年度までさかのぼります。更別村と忠類村（当時）の青年国内研修団による旧矢本町への訪問が足がかりとなり、62年度に矢本町青年国内研修団が来村。平成3年度には「海と大地」子ども交流団が更別に訪れ、この交流は現在も相互に訪問する形で続いています。

平成5年度より友好姉妹都市の盟約に向けて関係者の訪問・協議が始まり、平成9年8月28日に「矢本町・更別村友好姉妹都市町村盟約」を調印。以降様々な分野で人材交流がスタートしました。

平成17年、矢本町と鳴瀬町の合併により東松島市が誕生。これにより平成17年11月8日に「東松島市・更別村友好姉妹都市盟約」が調印されています。

<社会福祉協議会同士の交流>

平成28年10月、東松島市と更別村の福祉人材交流により
本会職員2名が東松島市社会福祉協議会を初めて訪問。

震災直後の福祉避難所運営に関する話を伺うとともに、職員同士が知り合う機会となりました。

これを契機に平成29年6月、更別村社会福祉協議会として
地域の方とともに東松島市社会福祉協議会を再び訪問。被災者
支援の取り組みについて伺い、さらに関係を深めました。



昨年6月に東松島市社会福祉協議会を訪問

<「平常時からのつながりを」災害時等における相互支援活動に関する協定>

6月の研修の際に協定の話が持ち上がり、その後双方の
理事会で協議を重ね、この度の締結へ。

その具体的な内容は、救援活動等への職員の派遣、物資・
資機材の提供、ボランティアセンターの運営支援などです。

十勝でも予測される大地震、またその他の災害に向けて
本会としても準備・対応の必要があり、今回の協定はその
大きな力になります。

しかしこの協定はそれだけに限りません。協定書に「等」
とあるように、平時からの相互交流（情報交換や研修）を
進めて行くことを確認しました。

「災害を体験した者として、普段からの交流が最も大切
だと実感している。」東松島市社協の海道会長の言葉です。

大きな災害が起こることのないよう願いながら、これを
きっかけに社会福祉協議会同士の絆を深め、学び合いながらそれぞれ福祉のまちづくりを進めてまいります。



前列左より東松島市社会福祉協議会佐々木顧問、古山副市長、海道会長、更別村社会福祉協議会古山会長、江本副会長

この機会に、
東松島市の福祉
拠点や野蒜地区
なども視察して
きました。



11月に完成した復興祈念公園



～Sarabetsu Shakyo トピックス～



福祉図書・DVD貸出コーナーをご利用ください！



30/1/11～

老人保健福祉センター（福祉の里温泉）のロビーに、図書・DVDの貸出コーナーを設置しました。

無料でお貸ししますのでぜひご利用ください。

＊これらは赤い羽根共同募金の助成をいただき購入しました。

介護カフェで貴重なお話

社会福祉協議会では介護について気軽に話し合う“介護カフェ”を毎月開いており、ゲストの話を伺い懇談するなど楽しい時間を過ごしています。

ma・na・カフェより提供いただく美味しい飲み物も好評です。

＊介護カフェは出入り自由、参加費は100円です。



29/10/16

今年もカレンダー市を開催しました



30/1/10～24

今年も余ったカレンダーを寄贈いただき、カレンダー市を開催しました。売上金 24,900 円は、社会福祉協議会の福祉事業に使わせていただきます。

保健福祉課大塚係長による医療保険制度の説明



塩田・藤澤人権擁護委員によるお話

29/12/11

～高齢者等生活支援事業のお知らせ～

対象者：①おおむね65歳以上の方のみの世帯の方

②障害者手帳の所持者のみの世帯の方 など

「配食サービス」・・・火曜・金曜の夕方に村内の食堂手作りのお弁当を配達します。

ごはん付きで300円です。



「軽度生活援助」・・・家の清掃や庭のお手入れなど、日常生活上の必要な支援を行います。

利用料は、一時間1名派遣で150円です。



「寝具乾燥サービス」・・・7月と12月の年2回、使用している寝具をクリーニングします。

無料のため、住民税非課税世帯が対象です。



「除雪サービス」・・・おおむね20cm以上の積雪時に、住宅周囲の除雪を無料で行います。

非課税世帯が対象です。（実施期間：12月～3月）



お問合せ・お申し込みは→社会福祉協議会（☎53-3500）野々村へ

社会福祉協議会では、他にも不自由な方への福祉車両の貸出、緊急時の車椅子や電動ベッドの貸出、イベントなどへのレクリエーション道具の貸出も行っています。お気軽にお問合せください！

報告

第8回 更別村社会福祉大会



ご 来 場 あ り が と う ご ざ い ま し た

11月26日(日)、更別村社会福祉協議会主催の『更別村社会福祉大会』を盛会裏に終えることができました。大会は4年1度の開催であり、今回で第8回を迎えたところです。

福祉功労者への社会福祉協議会表彰、続いての記念講演では西上ありさ氏(studio-L・コミュニティデザイナー)と松山なつむ氏(訪問看護ステーションかしわのもり・統括管理者)をお迎えし、「更別村で元気に楽しく暮らし続けるコツ」と題してご講演をいただきました。またその他の催事として、さらべつうどんの無料昼食、縁日、ハンドマッサージ、バザーに喫茶におやき、手作り品の販売等々多くのブースで賑わいました。

早朝からの積雪による足元の悪い中、ご来場いただきました皆様、また関係各位・スタッフの方々に心よりお礼申し上げます。

～更別村社会福祉大会は赤い羽根共同募金の助成を受けて開催いたしました～

☆ 社会福祉大会フォトアルバム ☆





◎ 更別村社会福祉協議会 表彰 — 社会福祉事業功労者被表彰者 —

大田 英夫 様（南更別区）、 田井 輝男 様（更別東区）、
有金 博司 様（更生区）、 水口 博光 様（北更別区）、
下津 俱子 様（花園町）、 丹後 正義 様（錦 町）、
斗澤 梅子 様（錦 町）、 宿田 成宏 様（更南区）、
伊藤 真之 様（北更別区）、株式会社 山内組 様（錦 町）、
有限会社 サンシステム企画 様（平和区）



**第8回
更別村社会
福祉大会
収支報告**

収 入		支 出		
共同募金助成金	350,000円	運営費	来場者粗品、広報費等	111,558円
行政補助	75,000円	事業費	式典・記念講演	127,547円
自主財源（社協会費）	51,318円		昼食コーナー	56,238円
			その他催事の経費	180,975円
	476,318円			476,318円

平成 29 年度 赤い羽根共同募金運動 ～結果報告～

総 額 3,201,415 円

<募集期間：平成29年10月1日～12月31日>

- 戸別募金・・・・・・・・ 741,400円 (24行政区 866戸より)
- 法人募金 [村内]・・・・ 1,728,500円 (47法人より)
- 事業所募金・・・・・・・・ 115,000円 (27事業所より)
- 学校募金・・・・・・・・ 21,482円 (村内の4校より)
- イベント募金・・・・・・・・ 15,488円 (さらべつ大収穫祭ほか)
- 個人篤志募金・・・・・・・・ 187,254円 (12名より)
- 箱募金・その他の募金・・ 169,291円 (施設窓口、募金グッズ等)
- 法人募金 [村外]・・・・ 223,000円 (23法人より)



更別小学校



ト更別小学校



更別中央中学校

皆様の善意の募金に感謝申し上げます。集まった募金は来年度、村内の福祉事業に助成されます。

平成 29 年度 歳末たすけあい運動 ～結果報告～

総 額 928,783 円

<募集期間：平成29年12月1日～12月20日>

- 個別募金・・・・・・・・ 510,691円 (24行政区 849戸より)
- 職域募金・・・・・・・・ 332,937円 (37職域より)
- 個人篤志募金・・・・・・ 85,155円 (8名より)

歳末募金は、共同募金会から社会福祉協議会を経て、年末に全額が計 108 世帯へ配られました。



更別ライオンズクラブ 及川会長 来訪 <29/12/4>

募金は全額、社会福祉協議会理事が母子家庭や重度障がいのある方などにお届けしました。



福祉団体の活動



更別村老人クラブ連合会

開村70周年記念事業として、更別村老人クラブ連合会が主催し、誰もが楽しむことのできるニュースポーツ『ガンバルーンゲーム大会』を開催しました。

平成29年12月25日（金）、村農業者トレーニングセンターを会場に、参加者（小学1年生から93歳まで）やボランティア、総勢103名が集まり大いに賑わいました。

あいにくの雨模様となりましたが、ゲーム終了後はボランティア手作りの炊き込みご飯と豚汁が振舞われ、世代を超えて交流を深めました。

*****老人クラブでは入会員を募集しています*****

「つながり」「健康増進」「社会奉仕」～老人クラブでは、会員を随時募集しています。更別には、更別老人クラブ長生会（更別市街地区）、上更別老人クラブ長寿会（上更別地区）、勢雄老人クラブ柏寿会（勢雄地区）、更南老人クラブ喜楽会（更南地区）、更生老人クラブ福寿会（更生地区）の5つのクラブがあります。

入会希望やご質問がありましたら、各地区クラブまたは更別村老人クラブ連合会【事務局：社会福祉協議会担当 大津美紀 ☎53-3500】までご連絡ください。



更別村睦の会



更別村睦の会は、更別村に住む母子・寡婦等の世帯が相互に助け合い、学び合うために活動しています。

昨年9月、赤い羽根共同募金の助成を受けて例年どおり道内研修を実施することができました。会員が集まり外出する貴重な機会であり、今回は洞爺湖ビジターなどを見学してきました。

私たちの住む更別の大地も、噴火で運ばれた地層の上に豊かな農地が広がっています。自然の凄まじさ、偉大さ、その恵みとともに生かされていることを改めて思い知ったところです。

とても良い学びができるこのセンターを皆さんも一度訪れてみてはいかがでしょうか。【睦の会 大津寿美香】



ボランティアセンターだより

☆ふれあい版☆

ボランティアセンターは、ボランティア活動の啓発・推進等を目的に社会福祉協議会内に設置されており、ボランティア活動への助成、講座の開催、情報提供、ボランティア依頼の調整などを行っています。

◆ 活躍中！…村内グループのボランティア活動 ◆



更別農業高等学校福祉分会
“清掃奉仕活動” <29/11/10>



ボランティアグループ J A こんには
“更別村社会福祉大会の協力”



健やかクラブ <29/12/13>
“診療所クリスマス会”



百合花コーラス
“シルバーハウジングで歌を一緒に”



更別村ボランティアすずらん会 <29/12/4>
“一人暮らし高齢者ふれあい昼食会”



更別ふまねっと かしわの会
“ふまねっと出張教室” <29/10/6>

～自由な集いの場 “ふれあいサロン” 開催中～

改善センターの和室で月2回（第1・3水曜日）開かれるふれあいサロンは、出入り自由・過ごし方も自由・参加費も無料。更別村ボランティアすずらん会が行っています。

講師を招いてお話を聞くこともあります。

いつでも誰でもご参加いただけますのでお気軽にお越しください。

【年度内の予定】

平成30年 2月21日（水）10時から15時まで
3月 7日（水）10時から15時まで

* 2/21の午前中は、国保診療所の先生から認知症についてのお話があります。

* 3/21は祝日ためお休みです。

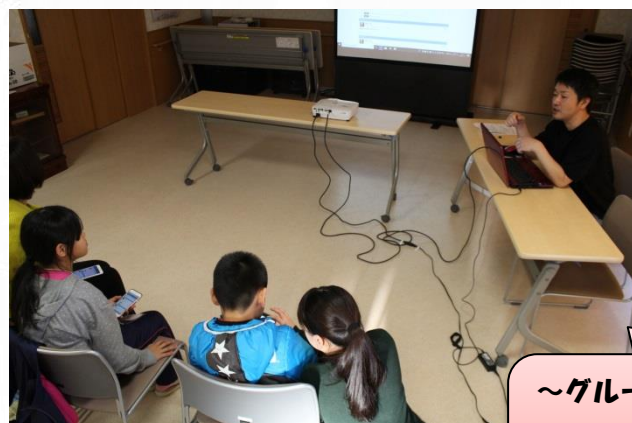


◆ ボランティアセンターのイベントを開催 ◆



～リサイクルボランティア体験～(29/10/28)

小学生6名参加。寒空のもとお手伝いをしました。



～グループホーム元気の里さるべつで交流～(30/1/12)

冬休みに上更別のグループホームへ。スマートフォンによる介護記録の取り方を体験。入居者の皆さんとパンケーキを作り、ビンゴゲームも楽しみました。

ボランティア
グループより

お知らせ

わんぱくキッズ

子どもたちの交流の場“わんぱくキッズ”
街なか交流館 ma・na・ca で賑やかに開催
しています。今後の予定は、

2月19日(月)、3月5日(月)

【時 間】14:00～17:00

【場 所】街なか交流館 ma・na・ca



更別ふまねっと かしわの会

認知機能にも効果のある健康運動“ふまねっと”を
月一回楽しんでいます。

ボランティアのサポーターも募集中!

2月27日(火)、3月27日(火)

【時 間】10:00～11:30

【場 所】街なか交流館 ma・na・ca



おはなしを楽しむ会おひさま

更別小学校でのお話し会は、

2月15日(木)、

3月15日(木)です。

【時 間】10:10～10:25(プレイタイム)

ボランティアグループJAこんにちは

今年もミニサービス“ひだまりの家”を
開きます!(昼食は各自、出入り自由)

2月20日(火)、22日(木)

【時 間】10:00～14:00

【場 所】老人保健福祉センター



ご寄付をありがとうございます (H29.10.6～)



☆ 金 銭 預 託 ☆

行政区	お名前・団体名	金 額	内 容
更別東区	山 角 孝 様	100,000円	母（定子 様）の逝去に際して
曙 町	田 中 富 美 子 様	100,000円	夫（正 様）の逝去に際して
幕 別 町	西 山 由 和 様	50,000円	父（由雄 様）の逝去に際して
勢 雄 区	穴 戸 功 様	100,000円	母（登志子 様）の逝去に際して
上更別南区	高 田 勝 見 様	100,000円	妻（きく彖 様）の逝去に際して
勢 雄 区	高 橋 道 昭 様	100,000円	父（博之 様）の逝去に際して
—	匿 名	50,000円	更別村社会福祉協議会 奨学金貸付事業のために
—	更別村ボランティア すずらん会 様	17,800円	更別村社会福祉大会におけるリサイクル バザーの売り上げを福祉のために
—	更別村手をつなぐ 親と子の会 様	21,300円	更別村社会福祉大会における縁日コーナー の売り上げを福祉のために

☆ 物 品 預 託 ☆

行政区	お名前・団体名	物 品	払 出 先
勢 雄 区	勢 雄 区 婦 人 会 様	タオル 65 枚	村内の福祉施設へ
香 川 区	香 川 区 女 性 部 様	タオル 52 枚	〃
—	漁 勢 会 様	タオル 100 枚	〃
音 更 町	北海道コカ・コーラボトリング 株式会社 様	飲 料 9 箱	シルバーハウジング他



リサイクルにご協力いただいた皆様 (H29.10.5～)



～ アルミのリングプル ～

江別市の「リングプル再生ネットワーク（プルネット）」に送っています。規定量に達すると、車椅子等の福祉用具と交換できます。 ※2月末現在の総重量は、300Kgです。

行政区	お 名 前
更別東区	アグリサポートさらべつ 様
緑 町	更別どんぐり福祉会 様
—	更別村役場保健福祉課 様
花園町	宮 本 富 康 様
緑 町	井 口 芳 江 様
曙 町	嶋 田 八重子 様
〃	橋 本 清 子 様
更別東区	橋 本 みち子 様
〃	山 角 純 子 様
南更別区	大 田 ツ ネ 様
音 更 町	岡 本 幸 恵 様

～ 使用済み切手 ～

「公益社団法人キリスト教海外医療協力会」等へ送り団体の活動資金となります。

※切手のまわりを切る時は、消印を残してください。

行政区	お 名 前
上更別区	北央道路工業株式会社 様
更別東区	アグリサポートさらべつ 様
緑 町	更別どんぐり福祉会 様
—	更別村国保険診療所 様
—	更別村役場総務課 様
—	更別村役場保健福祉課 様
花園町	上 田 愛 子 様
更別東区	山 角 純 子 様
北更別区	吉 田 富士子 様

第6回 『更別社協の杜窓から』

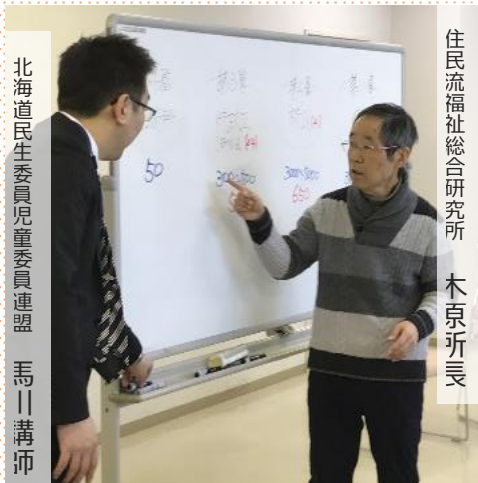
しゃそう



大岡生活支援コーディネータ

特集！
支え合いマップ

11月に行われた「ささえ愛のまちづくり講演会」での木原所長（住民福祉総合研究所）の講演をきっかけに、希望地区による「支え合いマップ」の取り組みが始まりました。講師を囲み民生委員さんや地区の方でワイワイと作業。



北海道民生委員児童委員連盟 馬川 講師

住民福祉総合研究所 木原 所長

ご近所流福祉とは？

助け合いは顔が見える関係で自然発生的に行われている。その範囲はおおよそ50世帯。更別村でも1300世帯で助け合いを進めるのは難しい。小さな理解の届く集団としては、行政区単位がそれに相当する。行政区は助け合いを進めることに大変適した範囲である。

なぜ支え合いマップをつくる？

マップづくりはみんなで情報を持ち寄りながら、ふれあいの関係を線で結び、地域を「見える化」すること。

そして作るのではなく、情報の共有によって気づきが生まれることが目的。それにより地域の世話焼きも見えてくる。



マップから見えてきた取り組み課題を検討するのはどうでしょう？

マップを
作って
どうするの？

①ご近所（行政区）単位での活動を

助け合いを進めるのに最適な世帯数であることを意識し、行政区ごとの活動を進めよう。

②活動、事業に要援護者への配慮を

少子高齢化が進む中で、元気な人を対象に実施されている活動、サークルも要介護者の参加も受け入れよう。誰もが参加できる配慮をしよう。例えば、車を持たないひとり暮らし高齢者でも参加できる基準に。

③一人ひとりの「生きた証」を展示する機会を行政区ごとに

④豊富な人材を活かそう

介護士、看護師、家族介護経験者など、行政区内で10名近くの人材を発見。まずは要援護者の地域活動の参加の際の移送と見守り、介助への協力はどうか。

⑤元気なうちから夫婦での活動参加のすすめ

⑥福祉は隠し味

福祉というのを表に出すと、受ける側は心地よくない。生活の中で「自分らしく楽しく自然な活動」＝「介護予防」を普及させよう。こちらの効率ではなく、要援護者流の介護予防を認めよう。

気になる
ひとこと

木原先生が更別の支え合いマップを見て、「地区にこんなにたくさん施設入所者がいるというのは、あなた達の将来の姿なんだよ。施設に入りたいたなら支え合いは必要ない。」とおっしゃいました。自分事として捉えることの難しさ、行きつく先は入所サービス・・・改めて「ハッ！」と感じた一言でした。

ご寄付いただいたタオルは施設などに届けています



コムニ里さらべつへ

更別村社会福祉協議会には地域の方から様々な寄付が届きます。

その一つにタオル類がありますが、これらは高齢者施設やどんぐり保育園にお譲りしています。

これからも寄付者の意向を伺いながら、福祉のために役立てていきます。



元気の里さらべつへ

社会福祉協議会では **心配ごと相談所** を開設しています。

開設日 月曜日～金曜日（年末年始・祝日除く） 午前8時30分～午後5時15分

相談員 更別村社会福祉協議会 岡事務局長 野々村福祉活動専門員

○ 困りごとについて一緒に考えます。

○ 必要な専門機関をご紹介します。 お電話は、53-3500へ



心配ごと相談所
更別村社会福祉協議会



11月の手作業作品「ぽんぽん鳥のオーナメント」

～ 元気クラブ 開催中 ～

対象者：村内の65歳以上の方（事前登録必要）

開催日：毎週木曜日 10時～12時

場所：老人保健福祉センター 利用料：200円

*** 編集後記 ***

今年度も皆様方のご厚志を賜り、歳末たすけあい募金を義援金としてお届けすることができました。ありがとうございます。

地域の方々の協力をいただきながら、子どもから高齢者まで心配なく暮らせる社会を目指して、社会福祉協議会は日々活動しています。

今後とも、皆様方の協力を何卒よろしくお願いいたします。(T)

さらべつ社協だより編集委員会

委員長 瀧上 健一

委員 荻原 悦子、遠藤 ともみ、小野 香菜子

【さらべつ社協だよりふれあいNo.85/平成30年2月13日】 社会福祉法人更別村社会福祉協議会

〒089-1531 河西郡更別村字更別 190番地1 更別村老人保健福祉センター内

TEL (0155) 53-3500 FAX (0155) 52-2161

法人代表メール：sara-shakyo227@abelia.ocn.ne.jp

ホームページアドレス：http://www.shakyo.or.jp/hp/160/

